

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第7部門第1区分  
【発行日】令和5年11月22日(2023.11.22)

【公開番号】特開2022-190797(P2022-190797A)  
【公開日】令和4年12月27日(2022.12.27)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-239  
【出願番号】特願2021-99238(P2021-99238)  
【国際特許分類】

H 0 1 R 13/24(2006.01)

H 0 1 R 4/18(2006.01)

【F I】

H 0 1 R 13/24

H 0 1 R 4/18 A

10

【手続補正書】  
【提出日】令和5年11月14日(2023.11.14)  
【手続補正1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0004  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0004】

しかし、特許文献1のものは、一枚の板バネ片が片持ち状に延出した形状なので、板バネ片の嵌合方向の変位量が小さい。そのため、嵌合方向（すなわち、突き当て面が板バネ片に突き当たる方向）において、各部品の寸法がばらついた場合、突き当て面と板バネ片とが導通しない事態が生じることが懸念される。

【手続補正2】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0014  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0014】  
[本開示の実施形態の詳細]  
[実施形態1]

本開示を具体化した実施形態1を、図1から図10を参照して説明する。本実施形態1において、前後の方向については、図3における左方を前方、右方を後方と定義する。上下の方向については、図3の手前側を上方、奥側を下方と定義する。左右の方向については、図3の上方を右方、下方を左方と定義する。

20

30

40

50